

第5回犯罪被害実態（暗数）調査のうち 「性的な被害」に係る調査結果（概要）

令和元年9月
法務総合研究所研究部

1. 調査概要

（1）調査対象者

全国16歳以上の男女6,000人を無作為抽出により選定（前回4,000人）

（2）調査項目

- ・個人単位での犯罪被害として、性的な被害や強盗など7罪種
- ・世帯単位での犯罪被害として、自動車盗や自転車盗など7罪種
- ・各種詐欺等被害
- ・治安に関する意識や犯罪に対する処罰の在り方など

（3）調査方法

法務省が調査を委託した民間事業者の調査員による訪問調査

調査員が調査対象者の自宅を訪問し、主に聴き取り方式による調査を実施。

ただし、一部の調査項目（性的な被害など）については、調査対象者自身で調査票に記入・提出する方式（以下「自計方式」という。）による調査を実施

自計方式を採用した調査票の提出方法は、①その場で調査票を封かんして提出、②後日調査員が再訪問した際封かんして提出、③郵送で提出、④オンラインで回答、の4種類から、調査対象者自身が選択する。

（4）調査回答者

聴き取り調査に対する調査回答者数は、3,709人

そのうち、自計方式による調査票全ての提出があった人数は、3,500人（男性1,688人、女性1,812人）

2. 性的な被害に関する調査の集計結果（詳細は、別紙1及び2のとおり）

過去5年間に性的な被害に遭ったことがあると回答した者は、35人（1.0%）

【内訳】女性30人（女性回答者数の1.7%）・男性5人（男性回答者数の0.3%）

捜査機関に被害を届け出なかった者は、28人

捜査機関に届け出なかった理由は、「それほど重大ではない」10人、「どうしてもいいのか分からなかった（被害を届け出る方法が分からなかった）」8人など

被害の内容は、「痴漢」11人（最多）、「セクハラ」7人、「強制的性交等」1人、「強制わいせつ」1人、「暴行や脅迫を受けていないが意に反するわいせつ被害」2人 など

参考資料 第5回犯罪被害実態（暗数）調査の調査票（性的な被害に限る。）

性的な被害に関する集計表

※：今回から新設した質問項目又は選択肢

Q4 性的な被害の有無

総数	あり	なし	分からない	無回答
3,500	35 (1.0)	3,400 (97.1)	4 (0.1)	61 (1.7)

性的な被害ありの者の内訳（男女別）

総数	女	男
35	30 (85.7)	5 (14.3)

注 Q4で「あり」と回答した者のみが回答している。以下「Q4-O」まで同じ。

性的な被害ありの者の内訳（年齢層別）

総数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
35	2 (5.7)	8 (22.9)	9 (25.7)	8 (22.9)	7 (20.0)	1 (2.9)

Q4-A 被害に遭った時期

総数	今年	昨年 (平成30年)	それ以前	分からない (思い出せない)	無回答
35	2 (5.7)	15 (42.9)	25 (71.4)	1 (2.9)	-

注 複数選択による。

Q4-B 昨年の被害回数

総数	1回	2回	3回	4回	5回以上	分からない
15	5 (33.3)	3 (20.0)	2 (13.3)	1 (6.7)	3 (20.0)	1 (6.7)
	無回答					
	-					

注 Q4-Aで「昨年（平成30年）」と回答した者のみが回答している。

Q4-C 被害場所

総数	自宅・ 自宅敷地内	自宅付近	自宅のある 市町村内	職場・ アルバイト先 [※]	学校 [※]	その他国内
35	1 (2.9)	2 (5.7)	3 (8.6)	15 (42.9)	-	4 (11.4)
	海外	分からない	無回答	記入上の不備		
	-	-	8 (22.9)	2 (5.7)		

注 複数回被害に遭っている場合は、直近の被害について回答している。以下「Q4-O」まで同じ。

Q4-D 加害者との面識

総数	加害者を 知らなかった	少なくとも1人は、 顔を知っていた	少なくとも1人は、 名前を知っていた	加害者を 見なかった	無回答
35	8 (22.9)	5 (14.3)	15 (42.9)	5 (14.3)	2 (5.7)

Q4-E 加害者との関係

総数	夫、内縁の夫、 妻、内縁の妻	元夫、元内縁の夫、 元妻、元内縁の妻	恋人	元恋人	家族・親戚	親しい友人
15	-	-	-	-	-	1 (6.7)
	教師・コーチ [※]	職場の上司・先輩	職場の同僚・後輩	上記の誰でもない	答えたくない	無回答
	-	8 (53.3)	3 (20.0)	6 (40.0)	-	-

注 1 Q4-Dで「少なくとも1人は、名前を知っていた」と回答した者のみが回答している。

2 複数選択による。

Q4-F 被害の内容

総数	強制性交等	強制性交等未遂	暴行や脅迫は受けていないが意に反する性交、肛門性交又は口腔性交 [※]	強制わいせつ	強制わいせつ未遂 [※]	暴行や脅迫は受けていないが意に反するわいせつ被害 [※]
35	1 (2.9)	-	-	1 (2.9)	-	2 (5.7)
	痴漢	セクハラ	その他の不快な行為	分からない	無回答	記入上の不備
	11 (31.4)	7 (20.0)	6 (17.1)	-	4 (11.4)	3 (8.6)

Q4-G 暴行・脅迫の有無※

総数	暴行	脅迫	答えたくない	無回答
2	-	2 (100.0)	-	-

- 注 1 Q4-Fで「強姦性交等」又は「強制わいせつ」と回答した者のみが回答している。
2 複数選択による。

Q4-H 加害者の凶器所持の有無

総数	あり	なし	分からない	無回答
2	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-

- 注 Q4-Fで「強姦性交等」又は「強制わいせつ」と回答した者のみが回答している。

Q4-I 被害の状況※

総数	抵抗できた	突然で抵抗できず	暴力のおそれ抵抗できず	仕返しのおそれ抵抗できず	心理的に逆らえず	睡眠等で抵抗できない状態だった
2	2 (100.0)	1 (50.0)	-	-	-	-
	その他	答えたくない				
	-	-				

- 注 1 Q4-Fで「暴行や脅迫は受けていないが意に反するわいせつ被害」と回答した者のみが回答している。
2 複数選択による。

Q4-J 捜査機関への届出の有無

総数	あり	なし	分からない	無回答
35	5 (14.3)	28 (80.0)	-	2 (5.7)

Q4-K 捜査機関に届け出た理由

総数	犯罪は捜査機関に届け出るべきだから	重大な事件だから	加害者を処罰してほしいから	再発を防ぐため	助けを求めため	加害者からの弁償を得るため
5	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	4 (80.0)	-	-
	保険金を得るため(保険金請求のため)	家族等から言われた※	支援機関等から言われた※	その他	分からない	
	-	3 (60.0)	-	-	-	

- 注 1 Q4-Jで「あり」と回答した者のみが回答している。以下「Q4-L」まで同じ。
2 複数選択による。

Q4-L 捜査機関の対応への満足

総数	はい	いいえ	分からない	無回答
5	3 (60.0)	2 (40.0)	-	-

Q4-M 捜査機関の対応への不満理由

総数	十分な対処をしてくれなかった	関心を持って聞いてくれなかった	加害者を見つけてくれなかった	十分な経過通知をしてくれなかった	適切な扱いを受けなかった	到着するのが遅かった
2	-	-	1 (50.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	-
	その他	分からない	無回答			
	-	-	-			

- 注 1 Q4-Lで「いいえ」と回答した者のみが回答している。
2 複数選択による。

Q4-N 捜査機関に届け出なかった理由

総数	それほど重大ではない	自分で解決した	捜査機関が取り扱うのが適切ではない問題だった	代わりに別の機関に知らせた	家族が解決した	保険請求のための通報が必要なかった(保険未加入)
28	10 (35.7)	4 (14.3)	1 (3.6)	-	-	-
	捜査機関は何もできない(証拠がない)	捜査機関は何もしてくれない	捜査機関が怖い・嫌い	仕返しの恐れからあえて届け出ない	知られたくなかった※	加害者の処罰を望まなかった※
	4 (14.3)	3 (10.7)	1 (3.6)	1 (3.6)	4 (14.3)	3 (10.7)
	どうしたらよいか分からなかった※	その他	分からない	無回答		
	8 (28.6)	6 (21.4)	2 (7.1)	1 (3.6)		

注 1 Q4-Jで「なし」と回答した者のみが回答している。

2 複数選択による。

Q4-O 犯罪被害者支援機関への連絡の有無

総数	あり	なし	分からない	無回答
35	2 (5.7)	30 (85.7)	-	3 (8.6)

性的な被害の有無及びその内容に関する調査結果について【犯罪被害実態（暗数）調査】

※：今回から新設した質問項目又は選択肢

	性的な被害の有無に関する項目に対する有効回答者数	うち、性的な被害あり	被害の内容									
			強制性交等	強制性交等未遂	強制わいせつ	痴漢	セクハラ	その他の不快な行為	暴行や脅迫は受けていないが意に反する性交等※	暴行や脅迫は受けていないが意に反するわいせつ被害※	分からない	無回答
			第1回 (平成12年)	1,134 (女性のみ)	31 [2.7]	0	1	2	26		-	-
第2回 (平成16年)	1,084 (女性のみ)	27 [2.5]	1	0	16		7	-	-	3	-	
第3回 (平成20年)	3,654 (女性1,924 男性1,730)	71 [3.7]	2	4	4	52		-	-	13	-	
第4回 (平成24年)	2,127 (女性1,114 男性1,013)	26 [2.3]	3	0	0	8	10	3	-	1	2	
第5回 (平成31年)	3,500 (女性1,812 男性1,688)	30 [1.7]	1	0	1	11	7	6	0	2	7	

- ※ 第1回から第4回の「強制性交等」，「強制性交等未遂」は，「強姦」，「強姦未遂」の件数である。
- ※ 「強制わいせつ未遂」を選択した者がいなかったことから，記載を省略した。
- ※ 第1回から第4回の「有効回答者数」は，性的な被害の有無について「分からない」と回答した者及び「無回答」を除く。
- ※ 第5回の「無回答」は「記入上の不備」を含む。
- ※ [] 内は，女性又は男性の有効回答者数に対する比率である。

加害者との面識

	総数	加害者を知らなかった	少なくとも1名は顔を知っていた	少なくとも1名は名前を知っていた	加害者を見なかった又は見えなかった	分からない，答えたくない	無回答
第1回	31	21 [67.7]	4 [12.9]	3 [9.7]	2 [6.5]	-	1 [3.2]
第2回	27	18 [66.7]	5 [18.5]	2 [7.4]	0 [0.0]	2 [7.4]	-
第3回	75	30 [40.0]	15 [20.0]	22 [29.3]	8 [10.7]	-	-
第4回	27	7 [25.9]	2 [7.4]	10 [37.0]	6 [22.2]	-	2 [7.4]
第5回	35	8 [22.9]	5 [14.3]	15 [42.9]	5 [14.3]	-	2 [5.7]

- ※ 名前も顔も知っていた場合は，「名前を知っていた」に含まれる。
- ※ [] 内は構成比である。

捜査機関への届け出の有無

	性的な被害あり	捜査機関への届出の有無		
		あり	なし	分からない
第1回	31	3 [9.7]	27 [87.1]	1 [3.2]
第2回	27	4 [14.8]	21 [77.8]	2 [7.4]
第3回	75 (うち、男性4人)	10 [13.3]	57 [76.0]	8 [10.7]
第4回	27 (うち、男性1人)	5 [18.5]	20 [74.1]	2 [7.4]
第5回	35 (うち、男性5人)	5 [14.3]	28 [80.0]	2 [5.7]

- ※ 「分からない」は「無回答」を含む。
- ※ [] 内は構成比である。

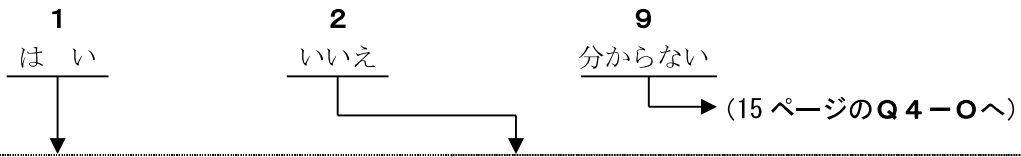
捜査機関に届け出なかった理由

	総数	それほど重大ではない	自分で解決した	捜査機関が取り扱おうが適切ではない問題だった	代わりに別の機関に知らせた	家族が解決した	保険請求のための通報が必要なかった	捜査機関は何もできない(証拠がない)	捜査機関は何もしてくれない	捜査機関が怖い・嫌い	仕返しのおそれからあえて届け出ない	被害に遭ったことを知られたくない	加害者の処罰を望まなかった※	どうしたのかわからなかった※	その他	分からない
第1回	27	10 [37.0]	2 [7.4]	2 [7.4]	1 [3.7]	1 [3.7]	-	6 [22.2]	2 [7.4]	0 [0.0]	4 [14.8]	-	-	-	12 [44.4]	1 [3.7]
第2回	21	7 [33.3]	5 [23.8]	4 [19.0]	0 [0.0]	1 [4.8]	-	9 [42.9]	8 [38.1]	2 [9.5]	1 [4.8]	-	-	-	2 [9.5]	1 [4.8]
第3回	57	25 [43.9]	13 [22.8]	11 [19.3]	1 [1.8]	1 [1.8]	-	12 [21.1]	10 [17.5]	2 [3.5]	4 [7.0]	8 [14.0]	-	-	7 [12.3]	2 [3.5]
第4回	20	4 [20.0]	6 [30.0]	3 [15.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	0 [0.0]	6 [30.0]	3 [15.0]	1 [5.0]	4 [20.0]	-	-	-	6 [30.0]	1 [5.0]
第5回	28	10 [35.7]	4 [14.3]	3 [10.7]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	4 [14.3]	3 [10.7]	1 [3.6]	1 [3.6]	4 [14.3]	3 [10.7]	8 [28.6]	6 [21.4]	3 [10.7]

- ※ 複数回答による
- ※ 「分からない」は「無回答」を含む。
- ※ [] 内は構成比である。

* 性的な被害の有無に関する調査は，第1回，第2回は女性のみを対象とし，第3回調査以降では男女双方を対象としていることなど，各回の調査手法，選択肢等に違いがあることから，統計上は全体を通じての経年比較はできないことに留意する必要がある。

Q4-J あなた又は誰かが、捜査機関に被害を届け出ましたか。(〇は1つ)



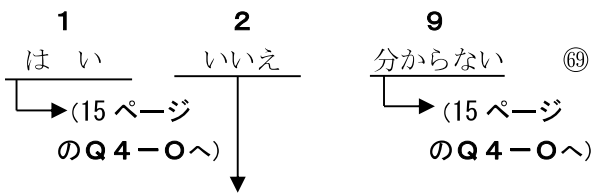
Q4-K あなた又は誰かが捜査機関に届け出た理由は何ですか。該当するものを**全て**お答えください。

(〇はいくつでも)

- 1 (欠番ですので、〇を付けないでください。)
- 2 犯罪は捜査機関に届け出るべきだから
- 3 重大な事件だから
- 4 加害者を処罰してほしいから (加害者を捕まえてほしいから)
- 5 再発を防ぐため
- 6 助けを求めため
- 7 加害者からの弁償を得るため
- 8 保険金を得るため (保険金請求のため)
- 9 家族・友人・知人から届け出るよう言われたため
- 10 犯罪被害者への支援を行うための機関・団体から届け出るよう言われたため
- 11 その他 ()
- 12 分からない ⑥⑦

(Q4-Lへ) ⑥⑧

Q4-L 全体的に、捜査機関の対応に満足しましたか。(〇は1つ)



Q4-M あなたが満足できなかった理由は何ですか。該当するものを**全て**お答えください。

(〇はいくつでも)

- 1 十分な対処をしてくれなかった
- 2 関心を持って聞いてくれなかった
- 3 加害者を見つけてくれなかった又は捕まえてくれなかった
- 4 (欠番ですので、〇をつけしないでください。)
- 5 十分な経過通知をしてくれなかった
- 6 適切な扱いを受けなかった (失礼だった)
- 7 到着するのが遅かった
- 8 その他 ()
- 9 分からない ⑦⑩

(15ページのQ4-Oへ)

Q4-N 届け出なかった理由は何ですか。該当するものを**全て**お答えください。(〇はいくつでも)

- 1 それほど重大ではない (損失がない, 大したことではない)
- 2 自分で解決した (加害者を知っていた)
- 3 捜査機関が取り扱うのが適切ではない問題だった (捜査機関は必要ない)
- 4 代わりに別の機関に知らせた (機関名:)
- 5 家族が解決した
- 6 保険に入っていないので, 保険請求のための通報の必要がなかった
- 7 捜査機関は何もできない (証拠がない)
- 8 捜査機関は何もしてくれない
- 9 捜査機関が怖い又は嫌い (捜査機関に関わってほしくない)
- 10 仕返しのおそれからあえて届け出ない
- 11 被害に遭ったことを知られなくなかった (恥ずかしくて言えなかった)
- 12 加害者の処罰を望まなかった
- 13 どうしたらよいのか分からなかった (被害を届け出る方法が分からなかった)
- 14 その他 ()
- 15 分からない

(15ページのQ4-Oへ)

⑦⑪

⑦⑫

【12 ページのQ4で、「ある」と答えた方に伺います。】

Q4-○ その被害の後で、あなたやあなたの御家族は、被害者の方への支援を行うための機関・団体に連絡しましたか。(○は1つ)

1
はい

2
いいえ

9
分からない

⑦③

 (全ての調査が終了です)